

第 24 期第 1 回総合工学委員会議事録

1. 日時:平成 29 年 10 月 4 日(水)10:00－12:00

2. 会場:日本学術会議 5 階 5－A(1)会議室

3. 出席者(敬称略、五十音順):

大野英男(東北大学)、小山田耕二(京都大学)、鈴置保雄(愛知工業大学)、
筑本知子(中部大学)、中村崇(東北大学)、波多野睦子(東京工業大学)、
藤井孝藏(東京理科大学)、松尾由賀利(法政大学)、吉村忍(東京大学)

4. 議事

4. 1 役員の選出

出席委員より委員長の候補として、吉村委員が推薦され、全会一致で吉村委員の
委員長就任を承認した。吉村委員長より、副委員長として、大倉委員が指名され、了
承された。また、幹事として、所委員・小山田委員が指名され、了承された。

4. 2 分科会世話人の決定

2017 年 10 月 30 日午前あるいは 11 月 2 日開催予定の連携会員向け説明会で必
要とされることから、前分科会で活動された委員情報も参考に次のように決定した。

*総合工学企画分科会 吉村忍先生

*ICO 分科会 松尾由賀利先生(→ 委員会終了後に荒川泰彦先生に変更)

*未来社会と応用物理分科会 松尾由賀利先生

*工学基盤における知の統合分科会 吉村忍先生(→ 委員会終了後、原辰次先生
に変更)

*エネルギーと科学技術に関する分科会 鈴置保雄先生

*工学システムにおける安心安全リスク検討分科会 大倉典子先生

*フロンティア人工物分科会 川口淳一郎先生

*放射線・放射能の利用に伴う課題検討分科会 柴田徳思先生

*持続可能な資源利活用に係る検討分科会 中村崇先生

(材料工学委員会 SDGsを担保するための素材・材料の循環使用検討分科会と関
連の深い活動であり、同分科会で活動する所先生に引き継ぐ予定)ただし、材料
工学委員会が主の分科会であるため、材料工学分科会から提案する。

*計算科学シミュレーションと工学設計分科会 吉村忍先生

*原子力事故対応分科会 矢川元基先生

*サービス学分科会 西尾チヅル先生

上記の世話人には、幹事から分科会設置申請書及び委員リスト書式を送り、11月
の幹事会に間に合うように(設置申請書は10月末を目途)、資料を幹事宛に提出し
てもらうように依頼する。

IMEKO 分科会については、東京大学石川正俊先生から分科会設置について事務局へ問い合わせがあったものの、2021 年開催の国際会議開催に向けた準備に関する議論が中心のため、設置が急がれることがないと判断した。このため今回は見送ることにする。正式な設置申請が行われた場合、その判断は委員長一任とする。

4. 3 第 175 回総会中に至急設置する分科会承認について

今年 12 月に開催が予定されている計算力学シンポジウムの実施母体であるため、計算科学シミュレーションと工学設計分科会設置及び委員が提案され、委員については、リストから 24 期に連携会員を継続しない方を除いた上で承認された。なお、本分科会の設置期間は 2018 年 3 月までであるので、それ以降の継続を望む場合には、改めて設置提案及び委員提案をする必要がある。

4. 4 連携会員説明会について

説明会には、10 月 30 日午前中の場合には吉村委員長が参加し、11 月 2 日の場合には大倉副委員長が参加し、設置予定の分科会について説明する。

4. 5 日本学術会議会則第 27 条第 2 項の取り扱いについて

第 23 期同様、本委員会では、本項をそのまま採用することが提案され、承認された。本項が対象とする具体的な審議内容としては、分科会によるシンポジウム開催・分科会における小委員会設置が挙げられた。万が一、分科会が暴走する懸念に対しては、委員長が承認するプロセスにおいて、必要に応じて委員会での審議を求めることが可能となっているため問題ない。

4. 6 その他

委員会における審議の効率性向上のため、以下項目を委員長委任とすることが提案され、承認された。

- (1)委員会委員への連携会員就任の審議
- (2)新規分科会設置、及び委員分科会委員の審議
- (3)他委員会が主となる合同設置の分科会に関する審議
- (4)分科会への委員追加の審議

なお、(1)に関連して、事務局から 24 期連携会員名簿のデジタルデータを入手し、その中から、主あるいは従で総合工学を選んだ委員をピックアップし、メールアドレスなどを追加で調査し、委員会参加の可否を確認する作業を、役員を中心に行うこととした。

以上